

## 環境部門（環境一般）

年 度	出 題 内 容
10年度	我が国の環境の現状を踏まえ、今後、環境改善を図っていく上での重要な課題と解決するための方向性および展望について、あなたの意見を述べよ。
11年度	日本の環境および日本をとりまく環境の現況を踏まえ、今後、環境改善を図っていく上での重要な課題と解決するための方向性および展望について、あなたの意見を述べよ。
12年度	環境保全を目的とする「大量生産・消費・廃棄型社会から循環型社会へ」という理念を踏まえ、今後の環境保全施策に期待される展開とそれに対する技術士としての貢献の可能性について、あなたの意見を述べよ。
13年度	日本および日本を取り巻く環境の現状を踏まえ、環境低負荷・循環型社会形成を図る上での重要な課題と解決のための方向性・展望と技術士としての貢献の可能性について、あなたの意見を述べよ。
14年度	環境低負荷型社会を実現する上での重要な課題、展望と技術士としての貢献の可能性について、内外の環境の現状を踏まえ、あなたの意見を述べよ。
15年度	内外の環境の現状を踏まえ、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築する上での課題、展望と技術士としての貢献の可能性について、あなたの意見を述べよ。
16年度	広く内外の環境の現状を踏まえ、環境への負荷の少ない持続的な社会を実現する上での重要な課題と解決に向けた展望、技術士として貢献の可能性について、あなたの意見を述べよ。
17年度	国内外の環境の現状を踏まえ、環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会を実現する上での重要な課題を列挙し、そのうち最重要と考える2種類を選び、それぞれについて、解決に向けた技術および技術士としての貢献の可能性について論述せよ。

年 度	出 題 内 容
18年度	<p>本年6月、第3次環境基本計画が閣議決定されたことを踏まえつつ、我が国において環境への負荷の少ない持続的可能な社会を実現する上での重要な課題を簡潔に列挙し、そのうち技術士として最重要と考える課題について、その解決の方向性および自らの貢献の可能性について論ぜよ。</p>
19年度	<p>環境に係る国際的な動向や第3次環境基本計画の策定等を踏まえつつ、我が国において環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を実現する上での重要な課題を3つ列挙し、その概要を述べよ。そのうち、技術士として最重要と考える1つの課題について、最重要と考える理由を述べ、その解決の方向性および自らの貢献の可能性について論述せよ。</p>
20年度	<p>平成18年4月に閣議決定された第三次環境基本計画においては、持続可能な社会は「健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域までにわたって保全されるとともに、それらを通じて国民一人一人が幸せを実感できる生活を享受でき、将来世代にも継承することができる社会」と定義されている。ここに定義された持続可能社会を表現する上での課題等について、次の問いに答えよ。(各1枚以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) あなたが重要と考える課題を3つ取り上げ、それぞれについてその概要を述べよ。</li> <li>(2) 上記のうち、技術士として最重要と考える1つの課題を選び、最重要と考える理由を述べよ。</li> <li>(3) その課題の方向性および自らの貢献の可能性について、論述せよ。</li> </ol>